	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			1% E1 T 0 1	l L
評価対象事業	評価者	文化財課担当課長		吉田 宗一	
文財-02 史跡調査・整備事業	■ 自治事務	主管課	文化財課		
文則 - 02 文 奶 調 查 · 查 佣 争 未	■ 法定受託事務	関連課	歴史まちづくり	推進担当	
総合計画上の 分野 歴史環境	施策の方針	史跡の指定	、保存•管理、惠	を備及び活用	

1 事業の目的

国等指定史跡、指定候補地

国等指定史跡、指定候補地を調査・整備し、保存・活用するため

国等指定史跡の指定及び保存・活用を図る

2 平成26年度に実施した事業の概要

西瓜ヶ谷地域のやぐら群の遺跡確認調査報告書の作成を行った。 全国史跡整備市町村協議会関東地区協議会平成26年度総会及び役員会を開催した(生涯学習センター及び永福寺跡)

3 事業費等基礎データ

	人人可坐呢!					
一人	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	/	備考
データの	人口	177,243人	人口	177,464人	/	•各年3月31日
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	/	(住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		/	
	当初予算(千円)	50	決算値(千円)	312	/	
運	国県支出金		国県支出金	131	/	
運営資源	地方債		地方債		/	
真酒	その他		その他		/	
状況	一般財源	50	一般財源	181	/	
	人員配置数	0.5	人員配置数	0.5	/	
	人 件 費(千円)	3,906	人 件 費(千円)	3,827		
事業 選 費 営	総事業費(千円)	3,956	総事業費(千円)	4,139		
	市民1人当りの 経費(円)	22	市民1人当りの 経費(円)	23		
	対象者1人当り の経費(円)		対象者1人当り の経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

7 1111	四个			<u> </u>	<u> </u>	フルノフノと区が。				
	年度事業実施 こっての課題	西瓜ヶ谷やぐら群の史跡	*指定の検討資	資料と	料とするため、平成25年度に実施した調査成果を報告にまとめる。					
	課題解決のために行っ た平成26年度の取組 発掘調査報告を刊行した。				□ 解決 □ 一部解 ■ 未解決					
	詳決の課題 たな課題	調査結果に基づき、国・	県と協力しつて	つ、史跡指定に向けた検討を進める必要がある。						
÷. ÷	事業費に削減余地はないか			1. あ	1. ある					
効 率 性					3. 統合できない					
	事業の実施に	こ対する市民ニーズはあるか			3. 変わらずにある					
妥 当 性	事業の廃止・体	・休止による市民生活への影響は大きいか			2. 廃止・休止による影響は小さいがある					
	今後も市が実施すべき事業か				5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある					
有 効 性	事業の成果は	は得られているか		2. 成	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である					
1月 XJJ III	1年 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか				3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している					
公平性	受益者負担は	は公正・公平か	△.負担未導入	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めていないが、今後、負担の導入						
協働	ᆂᄆᄷᄓᄸᄹᆡ	て事業を展開しているか	△.協働未実施		. 市民等と協働して事業を実施することはできない					
抗 13/1	川以守に励制し				動実施済の場合のパートナー					
	□ a:事業内	7容を見直す →	見 広大	-	見					
事業内 容の方	■ b:事業内	7容は現状通りとする	<mark>種直</mark> 類し □ 縮小		<mark>内直</mark> 容し					
向性	□ c:事業を	休止又は廃止する	の □ その)他	o o					
	□ d:他事業	業と統合し、本事業は廃止する				事業へ統合				
予算規	■ A:予算規	見模を拡大する	事業内容•予	今後	の県・国との協議の状況によっては、追加調査実施のため、	 ・予算規模の拡大				
模の方	□ B:予算規	見模は現状維持とする	算規模の方向	が必要となる可能性がある。また、史跡指定が実現した場合、維持管理のための継						
向性	□ C:予算規	見模を縮小する	性設定の理由	統的	な経費が必要となる。					
4 Λ ≘π	史跡指定は貴	重な文化財の保護を図	るための有効な	ょ手段	であり、本事業は必要に応じて進めて行くべきであるが、あ	わせて、指定後の				
総評	適切か管理の	ための経費もかかってく	ろことから 管理	里 敷/	備の方向性も十分に検討しておく必要がある。					

〇 他市比較・/	<u> ベンチマーク</u>	(県内外自	治体や民間	団体との比較	(値)				
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
10.11.54.35									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績 ——									
心中天候									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
//. 									
他市実績 ——									
当該事業実施に	伴う								
他市比較に関す 考え方	る								
	なった								
◎ 事業実施に 指標の内容	派の拍標					単		票の	備考
当該指標を設定	定した理由	年次	H26	H27	H28	位 H29	H30	向 H31	M0 · 3
	たし7こ/空田	目標値	1120	1127	1120	1120	1100	1101	
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単	指	票の	備考
当該指標を設	中1 北. 珊. 市	年次	1106	1107	1100	位		(向	III 7
ヨ談拍標で設	正し/に理田	目標値	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		実績値							
		達成率							
		と水干				単	指	票の	144.40
指標の内容	m .					位	傾	向	備考
当該指標を設	定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		日標値							
		実績値達成率							
		廷队平				単	指	票の	
指標の内容						位	傾	向	備考
当該指標を設	定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
指標の内容						単 位		票の i向	備考
当該指標を設	定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	
		目標値							
		実績値							
		達成率							
当該事業実施に指標の推移に関	伴う								
指標の推移に関す 考え方	する								
事業に関す	る特記事項								

□ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業